



2025年2月21日

各位

会社名 サクサ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 CEO 齋藤 政利
 (コード番号 6675 東証スタンダード)
 問合せ先 執行役員 企画統括本部長 前野 一隆
 (TEL. 03-5791-5852)

2025年3月期通期連結業績予想の修正および
 期末配当予想の修正（記念配当）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2024年11月29日に公表いたしました2025年3月期の通期連結業績予想および期末配当予想を、下記のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2025年3月期通期連結業績予想の修正（2024年4月1日～2025年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （2024年11月29日）	百万円 44,000	百万円 2,800	百万円 2,800	百万円 2,200	円 銭 379.11
今回修正予想（B）	百万円 43,000	百万円 3,200	百万円 3,200	百万円 3,200	円 銭 551.44
増減額（B－A）	百万円 △1,000	百万円 400	百万円 400	百万円 1,000	—
増減率（％）	％ △2.3	％ 14.3	％ 14.3	％ 45.5	—
（ご参考）前期実績 （2024年3月期）	百万円 40,948	百万円 3,345	百万円 3,406	百万円 2,800	円 銭 479.87

(2) 修正の理由

売上高においては減収となる見込みではありますが、営業利益と経常利益においては、品質コストの減少などにより、前回予想を上回る見込みとなりました。また、第4四半期連結会計期間の営業利益と経常利益が、第3四半期までの実績と比較して低調であるのは、中期経営計画達成に向けた人的資本投資等のさらなる加速によるものです。

親会社株主に帰属する当期純利益においては、前述の増益理由に加え、2024-2026 中期経営計画「共に創る未来」（以下、「中期経営計画」という）で掲げている「政策保有株式の継続的縮減」を推進していること、および繰延税金資産の回収可能性が高まったことで、税金費用が減少する見込みなどにより、前回予想を上回る見込みとなりました。

2. 配当予想の修正について

(1) 2025年3月期配当予想の修正

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (2024年11月29日)		円 銭 135.00	円 銭 135.00
今 回 修 正 予 想		円 銭 165.00 (普通配当 135.00) (記念配当 30.00)	円 銭 165.00 (普通配当 135.00) (記念配当 30.00)
当 期 実 績	円 銭 0.00		
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	円 銭 0.00	円 銭 135.00	円 銭 135.00

(2) 修正の理由

当企業グループは、株主への利益還元を重要な経営課題のひとつとして位置付けるとともに、既存事業の経営基盤と収益力の強化を図りつつ、成長分野や新規事業に積極投資することにより企業価値の向上を実現することを基本方針としております。

利益配分にあたっては、企業価値向上に必要な投資に備えるための内部留保を確保しながら、良好な財務体質の維持と適正な株主還元を図ってまいります。

2025年3月期の期末配当予想につきましては、2024年5月29日公表の配当（株主還元）方針のとおり、当面、年間配当金を1株当たり135円とし、安定的かつ継続的な配当の実施を目指します。

なお、2024年4月2日をもちまして、当企業グループは設立20周年を迎えました。これもひとえに株主の皆様をはじめ、関係各位の温かいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

つきましては、これを記念するとともに、株主の皆様への感謝の意を表するため、1株当たり30円の記念配当を実施させていただく予定です。

これにより、2025年3月期の期末配当金は、普通配当135円に記念配当30円を加え、1株当たり165円とすることといたしました。

当企業グループは、1株当たり135円の配当方針を維持するとともに、2024年11月29日に公表した株主優待制度の新設や、本日「中間配当制度の導入および定款の一部変更に関するお知らせ」にて公表した中間配当制度の導入など、株主の皆様の満足度を高めつつ、配当性向やDOEを考慮した株主還元の実施を目指します。また、中期経営計画の実現に向け、米沢地区における生産・物流改革や、当社のDX戦略における重点取組みテーマである、経営管理およびカスタマーレーションマネジメントに関するDX基盤の構築ならびにSAXA-DXサービスプラットフォームの構築等に対し、引き続き積極的な成長投資を行ってまいります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上